

EXCELで始める 一番簡単な原価利益計算

First

Type-A

説明書

初版 2022年8月1日

製品概要

製品名称：First Type-A

製品バージョン：M.1.0

動作環境：Microsoft Excel（拡張子：xlsm）

本製品は、「実績原価計算」です。

実際に発生した費用から、製品一つ（1個など）の原価と利益を算出するツールです。

「EXCELで始める 一番簡単な原価損益計算」をキャッチフレーズに、「簡単に早く始めてみる」ことを重要視しています。

現在の自社の原価と利益が製品別、得意先別に把握できます。

■ いったい、自社の製品は、幾らで出来ているのか？

■ 儲かっていない、赤字の製品、得意先は？

これらが明確になります。

本製品は、問題解決やQCストーリーでいう「現状把握」と同じで、経営の現状把握を行うことです。

決算書、損益計算書の利益（合計値）では、会社の現状把握はできず、改善点や正しい経営意思決定は出来ません。

● 購買、調達業務にも、

本製品を購買、調達部品の価格査定に使用することで、材料費、外注加工費の削減に活用できます。

購買、調達先の情報を入手し、入力することで、現在の購入価格は適正価格なのか、購入先の価格査定を行い、値下げ交渉、価格交渉につなげます。

「Type-A」と「Type-B」の違い

本製品は「Type-A」ですが、「Type-B」との違いを記載します。

Typeによる大きな違いは、製品別原価計算を「生産実績」で行うのか、「売上実績」で行うかが異なります。

商社のように購入した物を加工せずに販売している会社や、個人事業のように販売数と生産数が殆ど変わらない（在庫しない）会社は、「売上実績」で原価計算を行う「Type-A」を使用します。

製造業などで、生産実績を記録し、且つ、原価計算期間の生産数と販売数に差がある場合は、「生産実績」で原価計算を行う「Type-B」を使用します。

「簡単に早く始める」を重視する場合は、「Type-A」を使用します。生産実績が必要無いため、「Type-A」の方が簡単に始めることができます。

「First」による、改善までのステップ

以下の「1 個」は、自社の状況に合わせて、Kg や本、ℓ、m、束、セットなどに読み替えてください。

1. 実際に発生した「加工費」を対象に、「製品別」に原価を集計し、製品 1 個の原価を算出します。
2. 製品 1 個の原価から、製品 1 個の利益を算出し、製品毎の利益と得意先毎の利益を計算します。
3. 計算結果から、儲かっている（又は、赤字）製品、儲かっている（又は、赤字）の得意先が分かります。
4. 儲かっていない、赤字の得意先、製品を対象に、要因を調査します。
5. お客様への見積り方法の改善、IE（インダストリアル・エンジニアリング）、TPS などによる現場改善など、改善を実施します。

※本製品の範囲は 1～3 が対象です。4、5 は別の製品又は、web 等で情報提供を行います。

本製品の対象者

- 中堅・中小企業の商社や小売業、製造業、個人事業の小売業や製造業など
- 会社で購買、調達を担当されている方（購入価格の査定が必要な方）
- 原価計算を勉強、習得したい、社会人、学生、アルバイトの方

ご注意

- 当然ですが、本製品の購入、導入による、黒字や儲かるを保証しません。
（儲かるためには、戦略的な価格設定や設備投資の意思決定、適切な改善が必要です）
- 同業者（原価に関する製品を販売する会社やコンサルタント）への、本製品の販売は行いません。

著作権

本製品の著作権は、「MG's コンサルティング」にあります。

本製品を無断で、販売、転売、流通、公開、本製品の改造品の販売など、一切の行為を固く禁止します。

また、本製品を使用してのコンサルティングも固く禁止します。

目次

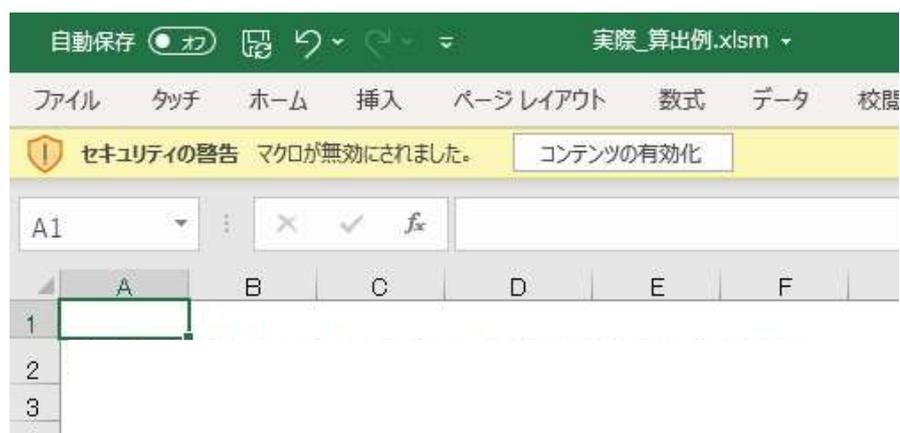
<はじめに>	5
①VBA（マクロ）を有効にする.....	5
②使用している主な関数.....	6
③印刷時のご注意	6
④最大データ量（取扱い量）	6
⑤セルの背景色、合計行、シートの保護.....	7
⑥【月間】 利用パスワード.....	10
<準備編>	11
■本製品に必要な情報一覧.....	11
1. 製品一覧	12
2. 得意先一覧.....	13
3. 全社費用	13
4. 経済減価償却.....	14
5. 直接費	17
6. 売上実績	18
<計算編>	19
■原価計算、利益の算出シート	19
7. 製品別原価計算.....	20
①製品別原価計算と他のシートとの関係.....	20
②製品への費用配賦（概要）	20
③製品別原価計算	23
8. 損益計算実行.....	28
9. 得意先・製品別損益.....	29
10. 製品別損益.....	32
11. 得意先別損益	34
<お問い合わせ>	35

<はじめに>

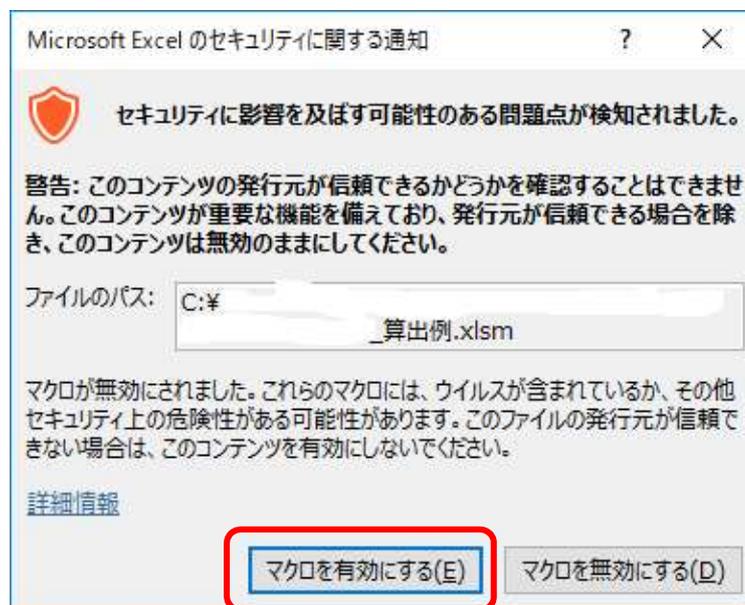
①VBA（マクロ）を有効にする

本製品は計算の一部に VBA（マクロ）を使用しています。
本製品を使用する時は「マクロを有効」にして使用ください。

下図のように、「セキュリティの警告」が表示されたら、「**コンテンツの有効化**」をクリックしてください。



下図の画面が表示された場合は、「**マクロを有効にする**」ボタンをクリックしてください。



※VBA（マクロ）を実行中、Excel のバージョンにより、「画面が白くなり、ちらつく」、「応答なし」が表示されることがありますが、正常です。

②使用している主な関数

本製品の EXCEL ファイルでは、各シートのデータを「参照」する方法で、関数を使用して計算しています。

「参照」とは、EXCEL のセルに、「=A3」などと「=（イコール）」と「セル記号」を入力して、別のセルの値を文字通り、参照して使用することです。

- 本製品で使用している主な関数は、以下の通りです。

IF

SUM、SUMIF

VLOOKUP

③印刷時のご注意

本製品の EXCEL ファイルでは、「最大行数」として、データ量に汎用性を持たせています。

従いまして、最大行数に達しない場合には、データの入力されていない「罫線のみ行」も出来てしまいます。

お手数ですが、印刷する際は、**印刷するページを指定（1～3 ページなど）して印刷**をお願いします。

④最大データ量（取扱い量）

本製品を使用して計算できる「最大データ量（上限）」を、下表に記載します。

この上限を超える計算はできませんので、予め、ご確認をお願いします。

種類	取扱い最大データ量（上限）
製品数・品番数	500 アイテム（500 品番）
得意先数	1000 社
原価費目数 （勘定科目数）	30 費目 （労務費、減価償却費、消耗品費などの費目数）
減価償却明細行	3000 台 ※設備の台数です。固定資産台帳の中で直接、生産に寄与する生産設備の数と概ね、等しくなります。
売上実績数	5000 行 ※得意先・製品毎の売上実績の実績数です。 100 品番を対象に、1 社に 1 品番のみを出荷している場合は、「100 行」になります。 100 品番を対象に、1 社に 2 品番を出荷している場合は、「200 行」になります。

**※むやみに、行や列の追加、削除、またセルの移動は行わないでください。
正しく計算されない場合があります。**